

## ○植栽

緑は良好な自然景観を形成し、四季折々の変化を楽しませるだけでなく、構造物による違和感・圧迫感の軽減や視線誘導の効果もあります。

植栽計画にあたっては、地域に生育する自然植生をできる限り活かすものとし、特に地域の景観資源となる古木大木などの既存樹については、現況での保存を第一に考えましょう。やむを得ない場合は、その周辺に移植するよう努めましょう。ただし、移植の負荷により樹木の寿命が著しく短縮されるような場合には、必要に応じて、新樹との更新などについても検討しましょう。

事業の実施により発生する地形改変部・空地等には、視認性等を考慮しながら、管理上支障のない範囲において、周辺景観に調和した緑化修景に努めましょう。

樹種の選定にあたっては、生育特性や樹形、経年変化などの樹種特性を踏まえ、地域の条件・環境に適したものを選定しましょう。また、地域住民の理解や協力を得るなど、将来的な植栽管理もふまえて植樹選定を行いましょう。

法面においては、自然の復元が目標であり、最終的には自生種によって緑化されることが望ましいので、自生種の侵入が容易になされるように、木本種も用いた郷土種による植生工を実施しましょう。盛土法面においては、自生種の苗木植栽も有効です。

### ■地域のシンボルとなる街路樹を立ち並べ、四季の変化を演出する



四季を感じさせるケヤキなどの街路樹が道路景観に潤いを与えるとともに、歩車道の境界を表す役目も果たしている



地域のシンボリックな景観資源となる樹木を保存・活用している



（残念な例）緑多い山地部での道路植栽は価値がない

## ② 水辺景観

### ○構造物（護岸、水路）

大規模な護岸の整備は、周囲の自然景観に対して違和感を与えるだけでなく、動植物の生態系へも影響をもたらします。一方、周辺景観との調和に配慮された落ち着いた意匠の護岸は、単調な連続景観のアクセントにもなります。護岸、水路の整備にあたっては、工法の検討により規模を最小限にとどめるとともに、地場資源（木材・石材等）の活用や表面処理等により、護岸を目立たせないよう配慮しましょう。

また、水辺とのつながりをもたせるなど、管理上支障のない範囲において親水性の向上についても配慮しましょう。

### ■控えめな意匠により周辺景観に馴染ませ、主役となる自然景観、歴史的景観を引き立てる



周辺の歴史的景観、既存の護岸との連続性に配慮した石積み護岸が周辺景観と調和している



自然石護岸が周辺の自然景観と調和している

### ■地域の個性を活かしながら、経済性や親水性にも配慮する



既存の石積みを活かした護岸が、往時の面影を残すとともにコスト縮減にもつながっている



水郷景観との調和に配慮した木柵による護岸



階段の設置により親水性に配慮した護岸整備



（残念な例）雁木部は布積、その前後は谷積で統一性がない

## ○高水敷

高水敷は、堤防と低水路に挟まれた空間で、堤防を流水から保護する役割とともに、緑地や公園として利用されるなど、都市部では貴重なオープンスペースとしての役割もあります。※1

高水敷は一般に広く平坦なため単調な感じになりがちです。利用者にとって快適な空間とするためには、空間を適度に区分し、脈絡ある空間配置を心がけ、空間相互を違和感なく結びつけることが景観設計上望まれます。※2

※1, 2 土木学会編「水辺の景観設計」/技報堂出版 P.86 引用

### ■機能性や自然景観との調和に配慮しながら、利用者の快適性にも配慮する



緩勾配の法面と散策道が地域住民の憩いの場として利用されている



自然景観に配慮した木製遊具により、広場となるとともに、単調な高水敷のアクセントにもなっている

## ○ため池

ため池は、少雨期でも利水ができるよう貯めておく人工の貯水池で、地形が急で短く、流れが速い河川の多い我が国では、農業用水を確保するために、古くから多くのため池が造られてきました。年間を通して降水量が少ない岡山では、特に多くのため池が分布しています。

ため池の整備にあたっては、周辺に豊富にある自然景観や農村景観との調和に努め、機能性や安全性の確保とともに、親水性の向上についても配慮しましょう。

### ■自然景観との調和に配慮する



緩やかな勾配と控えめなデザインの張りブロックが周囲の自然景観に馴染んでいる

### ■親水性の向上に努める



階段の設置により親水性に配慮したため池

## ○舗装

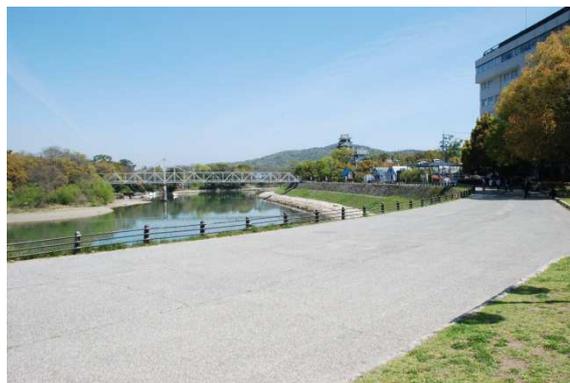
堤防天端は、管理用道路として利用されるケースが多いですが、周辺の地盤より高いため、河川空間や周辺空間を俯瞰する、非常に開けた眺望が得られます。

舗装整備にあたっては、水辺空間だけでなく周辺空間との調和に配慮しながら、落ち着いた、統一感のある景観形成に努めましょう。

### ■主役となる周辺景観との調和に配慮しながら、地域の個性を演出する



アスファルト舗装を抑制することで、周囲に馴染んだ、落ち着いた景観を形成している



歴史的景観に配慮した舗装意匠により、統一感のある景観形成が図られている



散策道を土道にすることで、周辺の自然景観と調和し、のどかな水辺景観を形成している



## ○付属施設

治水上の制約から、設置にあたっては様々な条件がありますが、周辺景観及び隣接する道路や公園に設置される付属施設との調和に配慮し、統一性のある意匠・形態・色彩に努めましょう。

### ■周辺景観や周辺施設との調和に配慮し、統一性のある景観整備に努める



護岸の一部となった延べ石・腰掛け



周辺景観に調和した落ち着いた色彩・意匠の工作物



地域の特色となる自然景観に配慮した透視性のある防護柵



周辺景観に配慮した木製の付属施設

### ■効果的な付属施設の配置により、親水性の向上に努める



水辺を臨むベンチを効果的に配置するとともに、柵が設けられていないので、親水性を高めている



## ○植栽

水辺空間には自然の植生が豊富に広がっています。植栽にあたっては、自然に生育する植生をできる限り活かすこととし、管理上支障のない範囲において、周辺景観に調和した緑化修景に努めましょう。

### ■周辺の自然景観に馴染んだ植栽整備に努める



まとまりある植栽が周辺景観と馴染んでいる



周辺景観と調和した植栽が一体的な河川景観を形成している



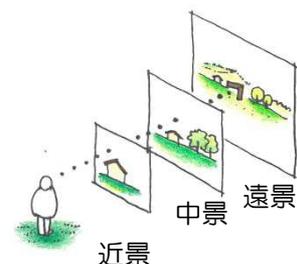
植栽が転落防止の役割を果たすとともに、足元を一旦下げることによって視方向の立ち上がりを抑えている



## COLUMN

### ●近景・中景・遠景

景観は距離による見え方で分類できます。近景は建物の外壁素材や樹木の葉の様子などが認識できます。中景は街並みや緑があるという要素や形、色の違いを認識できます。遠景は山並みや空が一体となって見える景観で、明暗によって形態を認識できます。



### ③ 橋梁景観

#### ○デザインと構造形式

橋梁はヒューマンスケールを超えた目立つ存在となるため、その姿は美しくデザインする必要があります。大地（地形、植生、水系、街等）と橋が一体となった風景を形づけられるよう、また、河川流水部との関係を意識しながら、コラム欄「橋梁の構造形式と景観」を参考にして構造形式を選定します。また、桁裏見上げの形など細部の見え方にも配慮しましょう。街中においては人が佇み憩う空間として橋詰広場を設けることも考えましょう。

#### ○径間割

径間割は、橋の中央に橋脚がないように、三、五などの奇数がよいとされています。経済設計にこだわって偶数径間を選ぶと、中央部の橋脚が視覚上の障害を作ってしまうこととなります。また、奇数の方がサイドからの眺めに安定感があってバランスがよいといわれています。

#### ○構造物

橋梁はその規模から、周囲の自然景観に対して大きな影響を与えます。配置や工法の工夫により圧迫感を軽減し、良好な地域景観の形成・保全を図りましょう。特に既存地形との接続部においては、違和感を与えないよう、周辺景観との調和に努めましょう。また、橋桁等の色彩については、周辺景観の基調色との調和や、四季を通じた景観の変化などに配慮しましょう。また、上部工と下部工は必ず一体で設計し、橋のプロポーションを整えましょう。

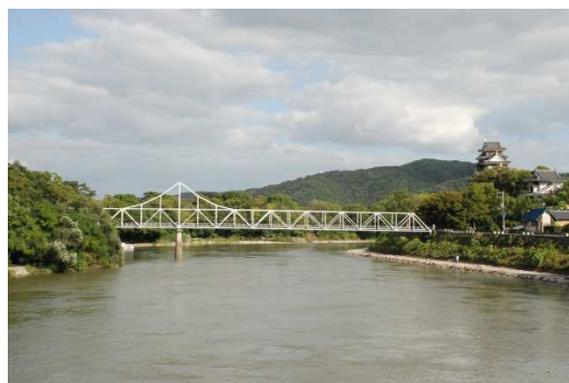
#### ■周辺景観との調和に配慮したデザインとする



周辺との調和に配慮した落ち着いた意匠や色彩が地域景観に馴染んでいる



空と海を基調としたスカイブルーと斜張橋によるシャープなイメージが美しい橋梁景観を形成している



変断面トラス橋が周辺の川・緑と一体となった風景をつくっている



高架橋の上部工と下部工が一体にデザインされ、曲線が構造物の厳つさを和らげている



V字谷によく似合っているアーチ橋

## ○欄干、防護柵

周辺施設や周辺景観との調和や連続性に配慮し、過剰なデザインは控え、統一感のある景観形成に努めましょう。また、安全上支障のない範囲において、歩行者や車からの開放的な眺望の確保に努めましょう。

### ■地域に応じた控えめな意匠、色彩により、地域の個性を際立たせる



沿川景観に配慮した透視性のある欄干



歴史的街並みに配慮した落ち着いた意匠の防護柵



昭和15年竣工の栄橋、造形に凝った高欄と照明丁寧に造られたものは今でも美しい



（残念な例）親柱に地域特産のメロンを据えているが、安易な発想でデザイン性がない

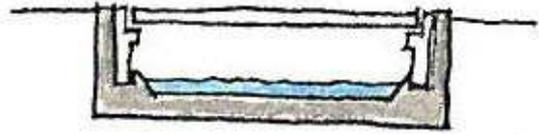
## COLUMN

### ●橋梁の構造形式と景観・・・その1

#### ◇ 桁橋

剛性のある棒または版状のものを桁として渡す構造で、丸木橋のような簡単なものから高速道路の高架橋のように橋長が数 km に及び多径間のものまで、この構造形式の橋が最も多く用いられています。景観的には、水平に長いラインを風景の中でどう生かすかがポイントとなります。

最もシンプルな形態であり、自然景観や都市景観の中に控え目かつ適度な存在感を示すことができます。



#### ◇ ラーメン橋

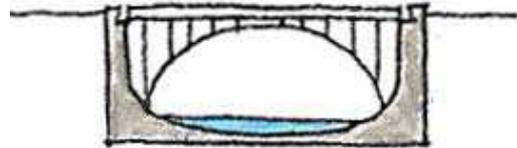
ラーメン橋は主桁と橋台・橋脚が剛結されて一体構造となったものです。方杖ラーメン橋は深い谷や道路を横断する中小スパンの橋梁に多く用いられています。いずれも外観がすっきりしており、安定感があります。



#### ◇ アーチ橋

アーチ橋は古来より「永久橋」として最も重用されてきた構造形式です。ヨーロッパでは鉄とコンクリートが出現するまでほとんどがこの構造で、古代ローマ時代から近代までにつくられた石造りアーチ橋が数多く残っており、今も実用に供されています。

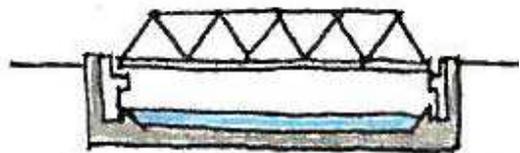
アーチの形状は一般的に美しく、上路アーチは深い谷地形で、下路アーチは河川や湖沼で安定的に見え、よく似合います。



#### ◇ トラス橋

トラスは直線部材を複数の三角形に組み合わせて安定化させる構造です。各部材の軸圧縮力、軸引張力により全体の荷重に抵抗する合理的な構造で、比較的スリムな多数の部材で構成されることが連続感、リズム感、繊細さを生む一方、見る方向によっては煩雑な印象を与えやすく、その視覚的なまとめ方が難しいです。

桁橋などに比べ細い部材で透過性があるので、色彩を選べば控えめな存在感とすることができます。



※解説は、篠原修編「景観用語事典 増補改訂版」/彰国社 P.272~274 より転載

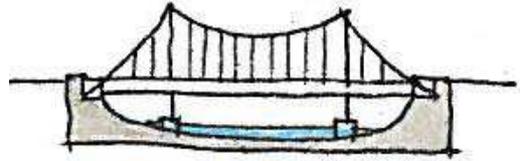
一部加筆

COLUMN

●橋梁の構造形式と景観・・・その2

◇ 吊橋

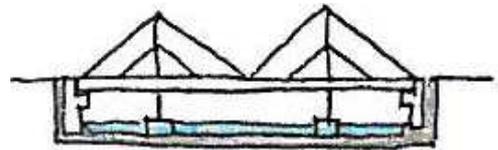
吊橋の歴史はアーチ橋より古いです。原型は綱渡りや籠渡りで、やがて複数の綱の上に橋床を張った型式（これは現代の吊床版橋の原型である）に発展しました。現代の吊橋は張り渡したケーブルに補剛桁を吊り下げたものであり、橋梁構造の中で最も大きなスパンを可能にする形式です。非常にたわみやすく、走行車両や風、地震などの変動荷重によって振動しやすい性質があります。



景観上は、ケーブルの曲線が優美で柔らかなイメージを与え、山間部、海峡部ともに適合しやすいという特徴がある反面、自旋式吊橋を除き巨大なアンカレッジを必要とし、これをどのように風景と調和させるかが大きなポイントとなります。

◇ 斜張橋

斜張橋は桁橋をケーブルで補剛した高次の不静定構造物です。支間割り、支持方法、ケーブル配置、塔形状などの選択の自由度が大きく、多様な形態が成立します。直線的でスレンダーな形状であるため都会的でシャープなイメージを有していること、また構造解析が複雑でコンピュータに負うところが大きく、近年になって発展を遂げた「新顔」であることから、現代を代表とする構造形式とされ、わが国でも1980年代から急激に増えてきました。さらに最近では低い塔を特徴とするエキストラロード PC 橋、斜版橋という新型も登場し、さらなる発展が期待されています。

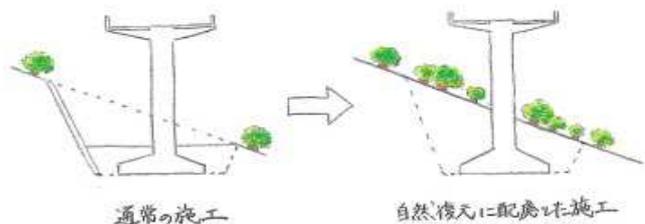


垂直と水平の直線で構成される斜張橋は、垂直性が卓越する山間部や煩雑な景観の都市部では似合わないが、空間的な広がりが大きく、水平性が卓越する河口部や海上部には似合います。

※解説は、篠原修編「景観用語事典 増補改訂版」/彰国社 P.272～274 より転載  
一部加筆

○地形・植栽に対する配慮

橋梁・高架橋の建設によって地形の改変や植生の損傷を最小限とするよう、橋梁形式や施工方法を含めて検討しましょう。また、橋台や橋脚の周りは植生の復元を図りましょう。



## ○付属施設

過剰なデザインやまとまりのない付属施設は周辺景観に影響を及ぼし、不良な景観を形成するおそれがあります。配置や構造の検討により、周辺の地域景観と調和を図るとともに、施設間でまとまりのない景観とならないよう、施設の統合・集約等、計画的な配置など、統一感のある景観形成に努めましょう。

### ■施設間で統一感のある景観形成を図る



歴史的な街並みに配慮し、欄干等とも統一感のある街路灯



まとまりのある街路灯・植樹帯により統一感のある橋上景観が形成されている



シャープな色使いとデザインの付属施設がすっきりとした橋上景観を形成している



### ■周辺の景観資源の活用



眺望デッキの設置により、橋上景観に周辺の景観資源を取り入れている



## ○市街地の高架橋

高架橋は、沿線住民や歩行者等に与える圧迫感や景観上の違和感を緩和するよう設計します。橋軸方向の見られ方を意識して桁や橋脚の形状を統一するとともに桁をスリムに見せるデザインや桁下からの見え方に配慮しましょう。

## ④ 緑地景観

### ○地形を改変する

自然地形を活用し、大規模な地形の改変は抑制しましょう。やむを得ず改変を行う場合は、可能な限り自然の回復に努めましょう。

#### ■自然地形を活用する



緩やかな斜面や岩肌など、自然地形を活用し、自然景観を保全している



丘陵や山並みなど、周辺の自然地形を景観に取り込んでいる

### ○地形をつくる

土を使うときは地形をつくってその後に植栽を施すようにしましょう。  
日本の並木道では必ずマウンドを作ってその上に植栽をしています。

#### ■微小地形をつくる



土を盛って微小地形をつくることにより、景観に変化を与えている

## ○園路

園路の整備にあたっては、周辺の地域性、歴史、文化や園内空間との調和に配慮した素材、意匠、色彩を選定し、ユニバーサルデザインを検討するなど、利用者の安全性・快適性ととも、周辺景観と一体的な景観形成に努めましょう。また、長期的に良好な景観が保全されるよう、管理面も考慮した素材・意匠・色彩としましょう。

### ■周辺施設や周辺景観との一体的な整備により、利用者の快適性を向上させる



歩道と一体となった園路が通行者を園内に引き込む仕掛けにもなっている



歴史的街並みと調和した石畳による舗装



周辺の植栽との調和に配慮した自然舗装



車の通らない園内を歩行者や自転車がゆったりと通れる園路



足にやさしい木チップ舗装が自然景観にも溶け込んでいる

## ○付属施設、工作物

園内空間や周辺施設と一体的な素材、意匠、色彩とし、過剰なデザインや施設間でまとまりのない景観とならないよう、統一感のある景観形成に努めましょう。

### ■施設それぞれの機能を確保しながら、統一性・快適性の創出を図る



周辺の植栽と調和した色彩の案内標識



照明施設・案内標識等で統一された色彩の採用



歴史的街並みと自然空間との調和に配慮した色彩の案内標識



園内空間における調和に配慮した落ち着いた意匠のベンチ



園内景観との調和に配慮したかき柵

## ○駐車場

大規模な駐車空間は、園内景観や周辺景観に大きな影響を与えます。ユニバーサルデザインを検討するなど、利用者の安全性・快適性に配慮するとともに、駐車スペースや植栽の配置などの工夫により、一体的な景観の形成に努めましょう。また、地場資源や自然素材の活用など、構造物による無機質なイメージを和らげる素材、意匠、色彩にも配慮しましょう。

### ■施設の機能を確保しながら、周辺景観との調和・快適性の創出を図る



園路と一体的な整備と周囲の植栽が、駐車場の無機質な印象を和らげ、良好な園内景観を形成している



駐車場の周囲を丘陵や植栽で囲むことで、園内景観・園外景観を保護している



少しの工夫で味気ない空間に彩りを添えることができる

## ○植栽

緑は良好な自然景観を形成し、人々に憩いと潤いをもたらします。公園・緑地の整備にあたっては地域に生育する自然植生に配慮しつつ適切な植樹を選定し、周辺景観との調和を図りながら、四季を通じて潤いや季節感を楽しむことができる景観の形成に努めましょう。

樹種を選定にあたっては、生育特性や樹形、経年変化などの樹種特性をふまえ、条件・環境に適したものを選定しましょう。また、地域住民の理解や協力を得るなど、将来的な植栽管理もふまえて植樹選定を行いましょ。

### ■周辺景観との調和に配慮しながら、四季の変化を演出する



緑豊かな植栽が憩いと安らぎの空間を演出している



様々な植栽を楽しむことができる散策道



散策道に立ち並ぶ樹木が木陰を創出している



樹木を利用した休憩所

※詳しくは、「岡山市公共公益施設緑化の手引き（平成25年8月策定）」を参照してください。

## COLUMN

### ●植栽と景観

緑は自然の代表であり、潤いを与えてくれる他、景観に関して様々な効果を発揮しています。

景観形成：特徴ある高木がランドマークとなるなど植栽が主役となって景観を創造します。

景観強調：前景や借景として植栽を施すなど優れた景観をより印象的に見せます。

景観向上：並木など植栽が沿道の建物など他の要素と一体となって景観の質を高めます。

景観調和：人工構造物と自然空間との間に配置し、景観的な緩衝効果を出します。

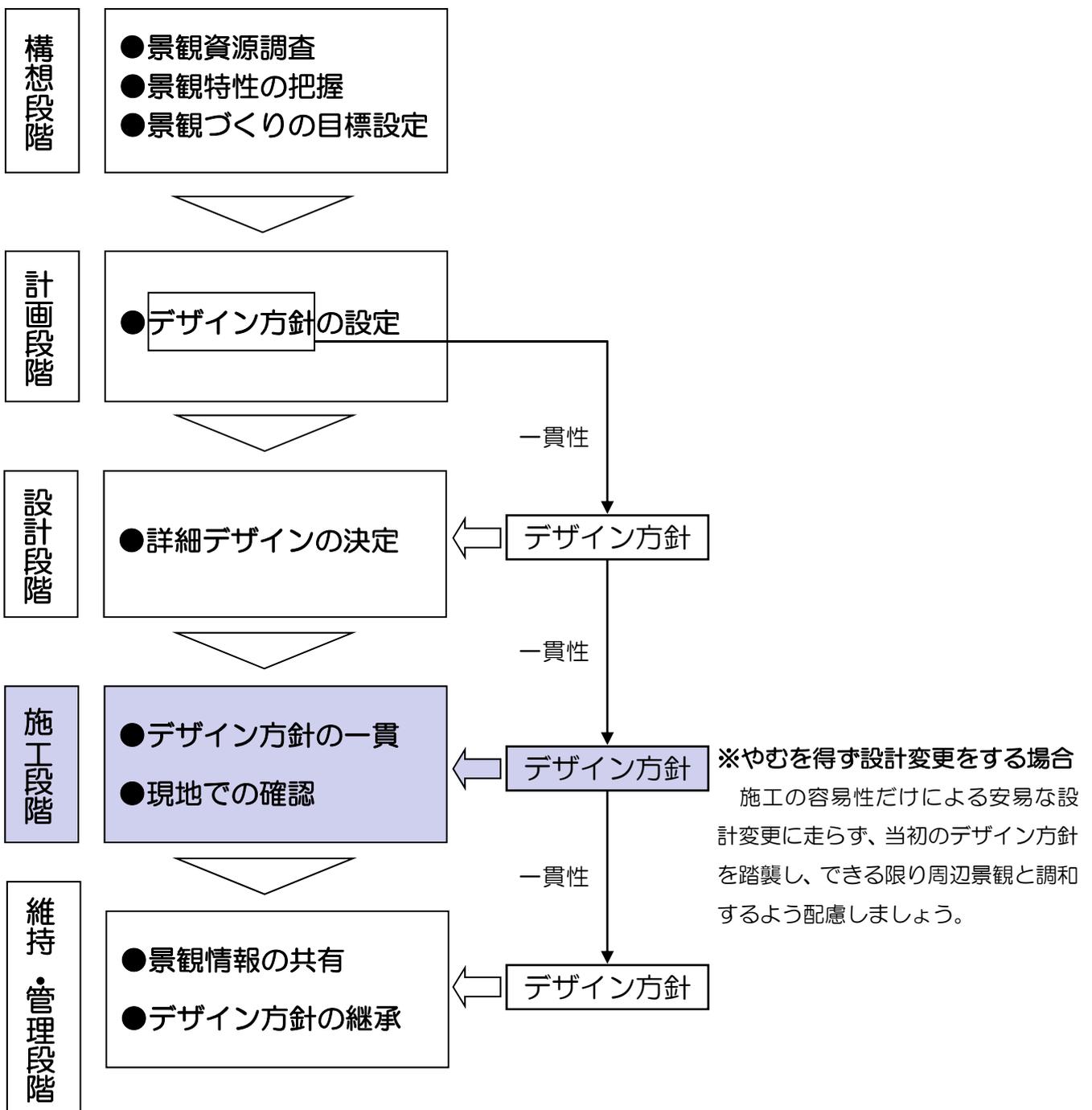
遮蔽：好ましくない視対象を植栽で隠します。

## （５） 施工段階

各種構造物のうち、可能なものについては、形態や色彩、配置について現場での試験施工等により確認を行い、当初の整備方針と合致するよう努めましょう。

施工段階になって生じる修正や変更については、当初の整備方針との一貫性を保ちながら、できる限り周辺景観と調和がとれるよう配慮しましょう。

設計段階から施工段階へ一貫性を確保するためには、デザイン方針のうち特に重要な事項については図面に明示するなどして設計段階から施工段階へデザイン内容が確実に引き継がれるよう留意しましょう。また、施工段階では受注者にデザイン方針がしっかり伝わるよう発注図書に明記しましょう。



## （6） 維持・管理段階

既存施設の維持補修に際しては、事業ごとの景観情報を共有することで、設計当時の整備方針を継承し、色彩・意匠・形態において一貫性のある維持補修を行い、当初の設計と著しく異なる仕様や色彩、デザインによる施工は避けましょう。現場条件・経年変化等によりやむを得ない場合は、できる限り目立たないように工夫しましょう。

自然石や木材など、自然素材による構造物の維持補修に際しては、時間の経過に伴い周囲の景観に溶け込んでいくエイジングの美に配慮し、既存材による修復に努めましょう。

植栽には、四季の変化や地域性の演出、視線誘導などの効果がある一方で、手入れのされない荒れた状態では、かえって景観を損ねたり、視線を妨げたりするおそれがあります。市民協働による景観づくりなど、地域住民の理解や協力体制の構築にも努めましょう。

### ■当初の整備方針の継承



整備当時のデザインに合わせた維持補修



既存の石積みを再利用した本物志向

### ■市民協働による景観づくり



市民ボランティアによる清掃活動



地元ボランティアによる水路清掃



（残念な例）パッチワークのようなブロック舗装、補修の仕方を工夫したい

## （７） 関連資料

### ① 写真撮影箇所一覧

ページ	掲載欄	撮影箇所
4	左	市役所筋
	右	西川緑道公園
8	左	岡山駅ちゅうぎん駅前ビル裏
	右	岡山市役所屋上
24		姫路城（姫路市役所提供）
31	左上	岡山県運転免許センター前（御津中山地内）
	右上	県道日応寺栢谷線（菅野地内）
	右下	河原地内真星川
32	左上	岡山県総合グラウンド前（桃太郎スタジアム北側）
	右上	岡山県立美術館前（城下筋）
	左下	足守藩侍屋敷遺構前
	右下	緑と水の道（絵図町地内）
33	左上	福岡市中央区
	右上	県立岡山芳泉高等学校前
	左下	夢二郷土美術館前（旭川さくらみち）
	右下	//
34	左上	津島交差点（武道館北側）
	右上	厚生町交差点
	左中	市道本町表町線
	右中	オランダ通り
	左下	岡山県庁本庁舎前（県庁通り）
	右下	福岡市中央区
35	左上	(都)万成国富線
	右上	烏城みち
	左下	多自枯鴨神社の大杉（建部町田地子地内）
	右下	県道岡山賀陽線（富吉地内）
36	左上	旭川右岸（岡山城東側）
	右上	福岡市中央区大濠公園
	左中	柳町二丁目地内用水路
	右中	庭瀬地内用水路（旧庭瀬港）
	左下	旭川左岸（後樂園東側）
	右下	緑と水の道（絵図町地内）

ページ	掲載欄	撮影箇所
37	左上	旭川左岸（後樂園東側）
	右上	百間川右岸（東川原地内）
	左下	大池（草ヶ部地内）
	右下	猿場池（横井上地内）
38	左上	旭川右岸（三野二丁目地内）
	右上	旭川右岸堤防道路（石山公園東側）
	左下	広島市太田川堤防道路
	右下	旭川右岸堤防道路（石山公園北側）
39	左上	長崎水辺の森公園
	右上	百間川右岸（中川町地内）
	左中	旭川右岸（後樂園西側）
	右中	旭川左岸（後樂園西側）
	左下	福岡市中央区大濠公園
	右下	//
40	左上	百間川右岸（中川町地内）
	右上	後樂園
	左下	広島市太田川
	右下	//
41	左上	中川橋歩道橋
	右上	蓬萊橋
	左下	長崎市女神大橋
	右下	月見橋
42	左上	西バイパス高架下
	右上	県道岡山賀陽線（岡山空港南側付近）
	左中	長崎市女神大橋
	右中	蓬萊橋
	左下	栄橋（中井町一丁目地内）
	右下	新大井橋（足守地内）
45	左上	蓬萊橋
	右上	相生橋
	左中	岡北大橋
	右中	長崎市女神大橋
	左下	岡北大橋
	右下	長崎市出島
46	左上	芥子山公園

ページ	掲載欄	撮影箇所
	右上	芥子山公園
	左中	神崎緑地
	右中	長崎水辺の森公園
	左下	岡山県総合グラウンド
	右下	//
47	左上	岡山県総合グラウンド
	右上	//
	左中	近水園
	右中	西大寺南ふれあい公園
	左下	岡山県総合グラウンド
	右下	//
48	左上	//
	右上	//
	左中	近水園
	右中	岡山県総合グラウンド
	左下	近水園
49	左上	岡山県総合グラウンド
	右上	//
	左中	浦安総合公園（西地区）
	右中	//
	左下	分庁舎駐車場
50	左上	西川緑道公園
	右上	浦安総合公園（西地区）
	左下	岡山県総合グラウンド
	右下	福岡市中央区天神中央公園
52	左上	城下筋（岡山市立オリエント美術館前）
	右上	旧庭瀬港常夜灯（庭瀬地内）
	左下	市役所筋

## ②用語解説

### あ行

- **アイストップ**  
人の視線を止める建物や樹木のこと。
- **アクセント**  
全体の調子を強く引き締める部分。強調点。
- **意匠**  
形・模様・色・配置などについて、装飾上の工夫を凝らすこと。デザイン。
- **エントランス**  
入り口、玄関。
- **オープンスペース**  
都市や敷地内で、建物のたっていない空地。

### か行

- **機能美**  
その機能を十分発揮することで感じられる美しさ。

### さ行

- **視点場**  
視点の存在する空間のこと。視点は景観を見る人間自体であり、視点場は視点である人間が位置する空間を指す。
- **視認性**  
対象物の存在あるいは見えやすさの程度。
- **視方向**  
見る方向。
- **借景**  
遠くの山水や樹木などの背景となる景観を庭園の一部として見立てること。
- **修景**  
形態・意匠・色彩を周囲の景観に調和させること。
- **親水性**  
河川や池で、水辺に近づける、水に触れられるなど、水との親しみやすさ。
- **スカイライン**  
山や建物などの空を背景とした輪郭線。
- **ストリートファニチャー**  
バス停留所、公衆電話ボックスなどの小建築物やベンチ、街路灯など。
- **スロープ**  
主に車いすなどの移動で、段差を解消するための傾斜。

- **セットバック**  
建築物の外壁を敷地境界線から後退させて建てること。
- **セミパブリックスペース**  
私的空間の中で通りに面した公共的な性格が強い空間。

### は行

- **バナー**  
旗や横断幕。
- **パブリックアート**  
公共の空間（公園や市街地など）で表現する芸術の総称。
- **バリアフリー**  
段差や仕切りをなくすなど高齢者や障害者に配慮をすること。
- **ヒューマンスケール**  
歩きやすい、住みやすいなど、人が快適に感じることができる適切な物の大きさや空間の規模。人間のサイズと比較した尺度のこと。
- **ビスタ景観**  
視点が奥行きに沿って移動していくような景観。並木、通りなどを見通した景観。
- **ファサード**  
建物の正面。また、建物の外観を構成する主要な部分。

### ま行

- **見えがかり**  
目に見える部分。

### や行

- **ユニバーサルデザイン**  
すべての人が使いやすいように製品・建物・環境などをデザインすること。

### ら行

- **ランドマーク**  
ある地域や場を象徴づけるのに顕著な要素。目印。
- **ルーバー**  
採光、通風、目隠しなどのために、板状の部材を重ねて組み立てたもの。

### ③参考文献

本指針の作成にあたっては、以下の文献を参考にさせていただきました。

- 岡山市内の農業水路に残る雁木めぐり  
（岡山大学大学院環境学研究科 地域文化風景学分野 馬場俊介著）
- 岡山の民家  
（鶴藤鹿忠著／岡山文庫）
- 景観スケッチのコツ  
（宮後 浩著／学芸出版社）
- 景観設計学 -脳から環境の美しさを考える-  
（福井幸夫 空京子 共著／コロナ社）
- 景観と意匠の歴史的展開 -土木構造物・都市・ランドスケープ-  
（馬場俊介監修／馬場俊介・小林一郎・岡田憲久・佐々木葉・鈴木圭著／信山社サイテック）
- 景観用語辞典  
（篠原 修編・景観デザイン研究会著／彰国社）
- 郊外の風景 江戸から東京へ  
（樋口忠彦著／教育出版）
- 建物維持保全ハンドブック 日常管理からリニューアルまで  
（竹中工務店 建物維持管理ワーキンググループ編／日本能率協会マネジメントセンター）
- 道路のデザイン 道路デザイン指針(案)とその解説  
（財団法人 道路環境研究所編著／大成出版社）
- 土木と景観 景観のためのデザインとマネジメント  
（田中尚人・柴田久編著 藤井 聡・秀島栄三・横松宗太著／学芸出版社）
- はじめてのランドスケープデザイン  
（八木建一著／学芸出版社）
- 堀繁講話集 景観からの道づくり -基礎から学ぶ道路景観の理論と実践-  
（堀繁 著（講話）／財団法人道路環境研究所編／大成出版社）
- まちの色をつくる 環境色彩デザインの手法  
（吉田慎悟著／建築資料研究社）
- 水辺の景観設計  
（土木学会編／技報堂出版）